

## 非常用ディーゼル発電機を取扱について

### 1. 諸元など

メーカー：ヤンマー建機（株）

発電機型式：YDG5500N-5EB（空冷ディーゼルエンジン発電機）

出力：定格4.2Kw（最大4.6Kw）/50Hz 単相110V or 220V

寸法：720 x 480 x 578 (cm) 乾燥重量：108Kg ノイズ：84dB（負荷100% 7m距離）

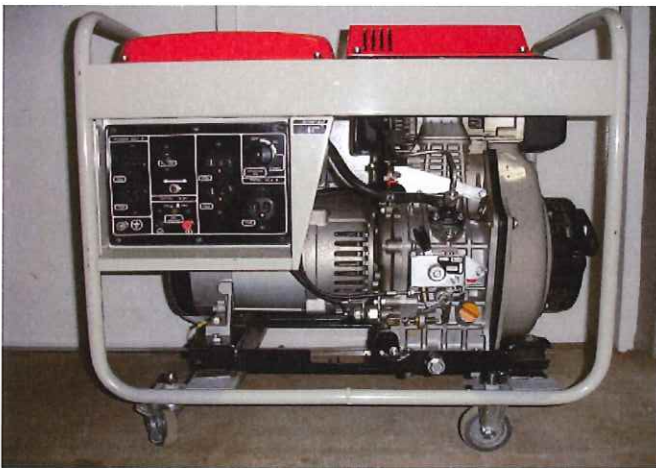
エンジン排気量：0.435L 燃料：軽油 燃料タンク：13L 始動：電気スターター・リコイル式併用

取得年月日：2020年10月20日（中古品）

取得時の状態：バッテリー、エアクリナーエレメント、レギュレーターなど新品、オイル交換済

最寄りのサービス拠点：ヤンマー建機（株）関東営業部厚木支店 厚木市関口103 TEL046-246-2151

[発電機全景]



[操作パネル]



操作パネルの右上に、ロータリー式運転スイッチ OFF ⇄ ON ⇄ START

パネル右側に100V（15A以下）用出力コンセント × 3個

やや左上にAC（交流）スイッチ（エンジン始動時はOFFで）、その下に12V端子（バッテリー充電専用）

左下にアース用の端子

### 2. 取扱要領（国内向けヤンマーディーゼル発電機を取扱説明書から抜粋の要旨）

- 感電防止のため接地（アース）して使用すること（接地抵抗100Ω以下のアース棒が必要）
- 運転は建物等から1m以上離して据え付けること
- 長期保管後はクランキング（空まわし）してオイルをなじませて使用すること  
AC（交流）スイッチをOFF → スターターキースイッチONで約5秒間空転 → 運転スイッチOFF

#### [始業点検]

- 発電機まわりの点検
  - エンジン本体、マフラー、吸気口、排気口などに異常がないこと
  - エンジンオイル漏れ、燃料漏れがないこと
  - ボルトのゆるみ、欠落がないこと
- エンジンオイル量の点検（検油ゲージをねじ込まないでレベルチェックする）
- 燃料量の点検と給油
- アースの確認

#### [始動の手順]

- AC（交流）スイッチは” OFF”、調速レバーが” RUN”であることを確認
- 運転スイッチを OFF → ON → START
  - スターターは15秒以上回転させないこと
  - 始動しない場合には15秒経ってから再度スイッチを操作すること
- 始動したら、5分間ほど無負荷で暖機運転を行うこと
- 暖機運転中に負荷運転前点検を行うこと
  - 排気色：ほぼ無色
  - 異常音、異常回転、異常振動等がないこと
  - 燃料、オイルの漏れがないこと

#### [停止の手順]

- 負荷側の電気スイッチをOFF
- AC（交流）スイッチをOFF
- 約5分間無負荷運転（冷機運転）
- 運転スイッチをOFF
- 非常停止措置として、デコンプレバー（エンジン内の圧縮抜き）と調速レバーキャンセルの操作あり
  - 写真の上側の赤色部がデコンプレバー、下側の赤色部が調速キャンセルレバー

#### [長期保管]

- 燃料を抜き取ること（完全に抜き取るとは困難？）
- バッテリーケーブルの一方（マイナス側）端子を外すこと
- バッテリーの補充電は月1回程度を目安に（12V端子からの自己充電には専用ケーブルが必要）
- ブースターケーブルを使用して他のバッテリーを接続する場合
  - 本機Bの+端子→他Bの+端子、他Bの-端子→本機Bの-端子の順でケーブルを接続する

#### [接続負荷の目安]

灯光器、電気コンロなど：4000Kw

ドリルやカナなどのモーター系電気機器：1700Kw

#### [その他]

使用エンジンオイル：CD級 10W-30 オイル量：1.6L

最小運転時間：約7時間（燃料満タンから）・・・運転中は早めの燃料補給を推奨

以上